

## 國學院大学 社会変化とICTの役割



山梨大学 教育学部 准教授 稲垣 俊介

- 私の授業はGoogleアカウントが必要です。  
持っていない人は今すぐにアカウントを作ってください。
- ノートPCも毎回の授業で持ってきてください。
- 私は授業中に写真や動画を記録として撮ります。
- この授業は発表や議論等がかなり多く実施されます。
- 履修修正期間中に、じっくり考えてください。

# 授業参加条件

- Googleアカウント必須です。未所持者は今すぐ作成します。
- ノートPC必携(毎回)です。タブレット・スマホのみは不可です。
- 授業運営の記録として写真・動画を撮影することがあります(学内共有・授業改善、研究目的)。
- 授業と教育研究(授業改善)のため、アンケート等を行います。
- 発表・ディスカッションを多数行います。積極的な参加を前提とします。
- いかなる理由でも授業参加が少ない(65%~70%程度目安)と修得できません。
- 履修修正期間内に、受講可否を各自で判断してください(私の授業は他の授業より厳しいかもしれませんよ?)

# この授業のお約束

- 自分から動いてアクティブに学んでください。  
受動的だけでなく、能動的に参加してください
- この授業内でのインプットは少なく  
皆さんのアウトプットの共有が多い授業内容です。
- 意識してPCとスマホを駆使してみましよう。

# 前回の結果から始めます

前回の回答は、

- 皆さんの実態を知るため
- 次の授業につなげるため
- 自分自身を見つめ直すため

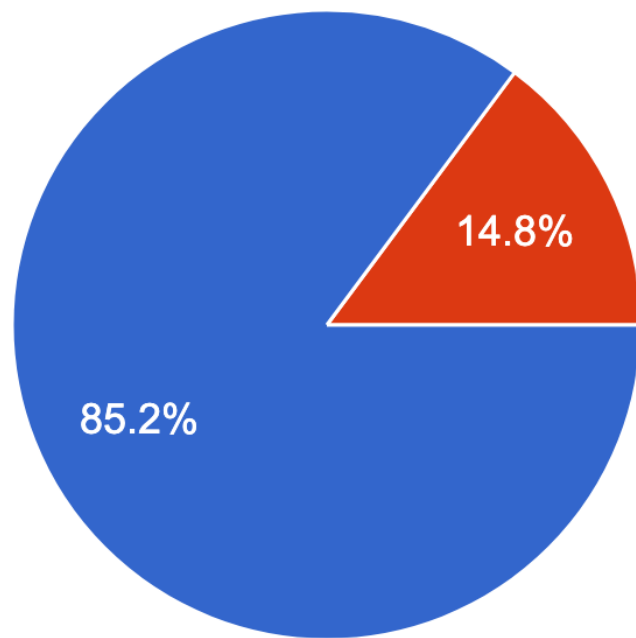
に使います。

質問3にまとめつつ聴いてくださいね。

# 「大学」は楽しいですか？

質問1 「大学」は楽しいですか？

54件の回答

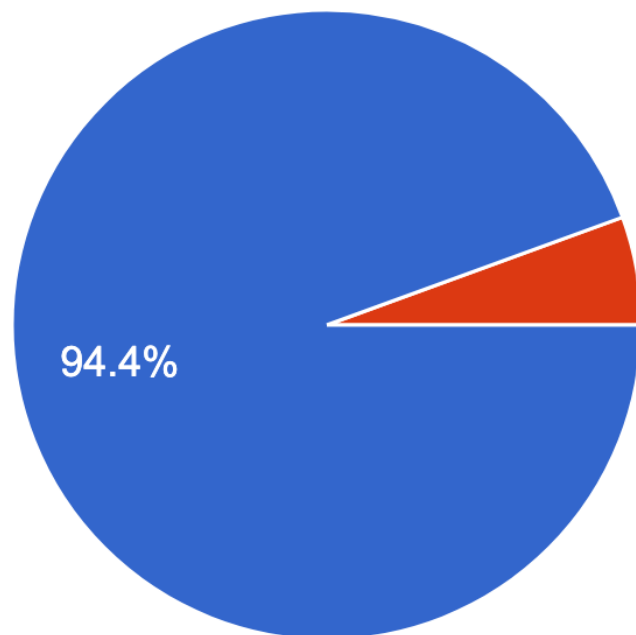


- 楽しい
- 「楽しい」とは言えない

# 「高校」は楽しかったですか？

質問2 「高校」は楽しかったですか？

54件の回答

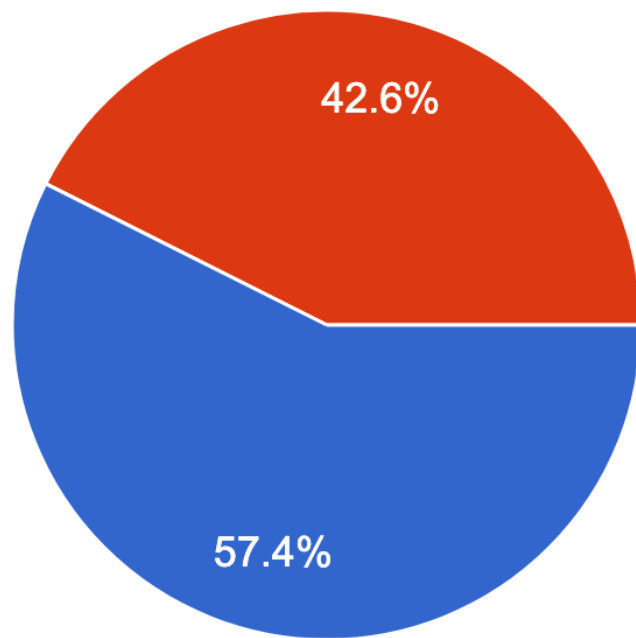


- 楽しかった
- 「楽しかった」とは言えない

# 「学校の先生」になりたいですか？

質問3 学校の先生になりたいですか？

54件の回答

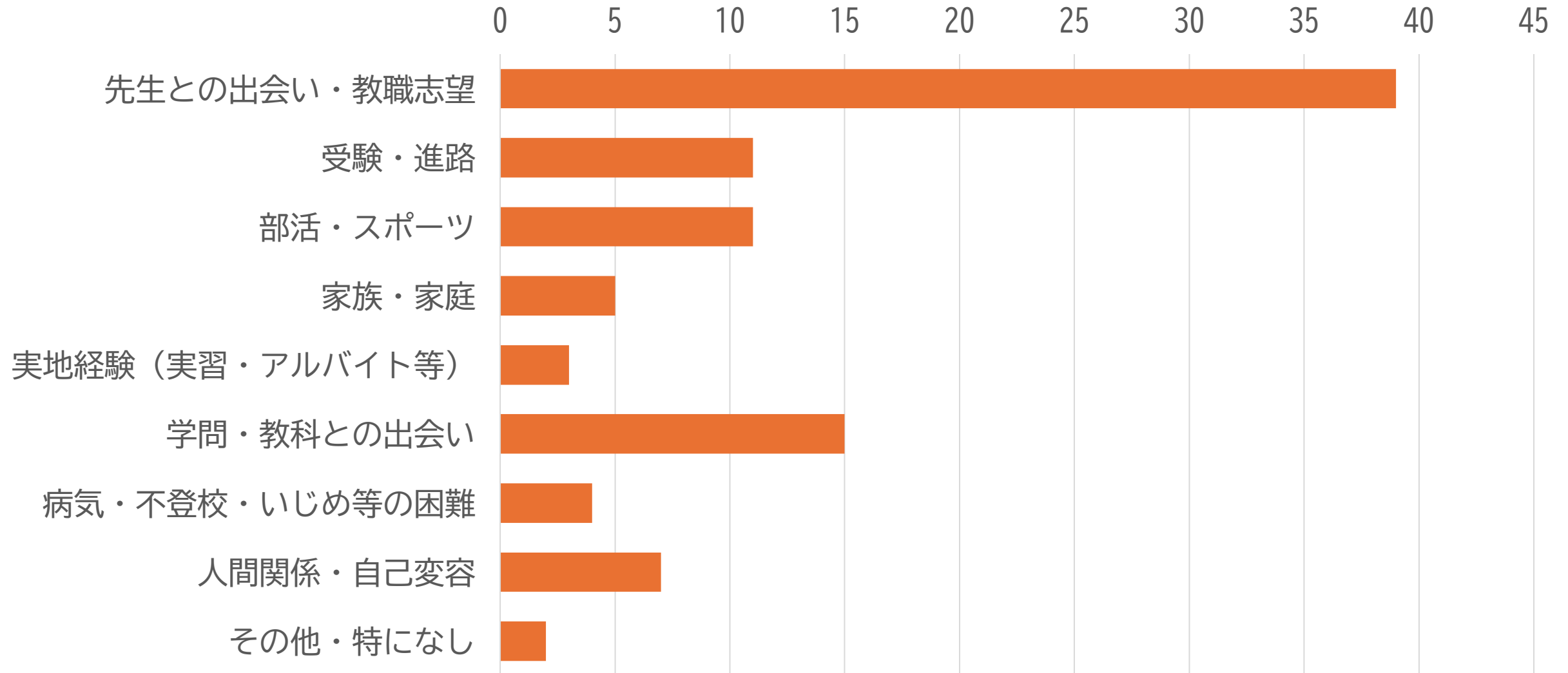


- なりたい
- 「なりたい」とは言えない

# 前回の結果④ 教職志望度とICT自己評価

- 教職志望は「迷っている」が最も多い
- ICT自己評価は「苦手寄り」が多い
- それでも、生成AIは避けて通れないと考える学生が多い

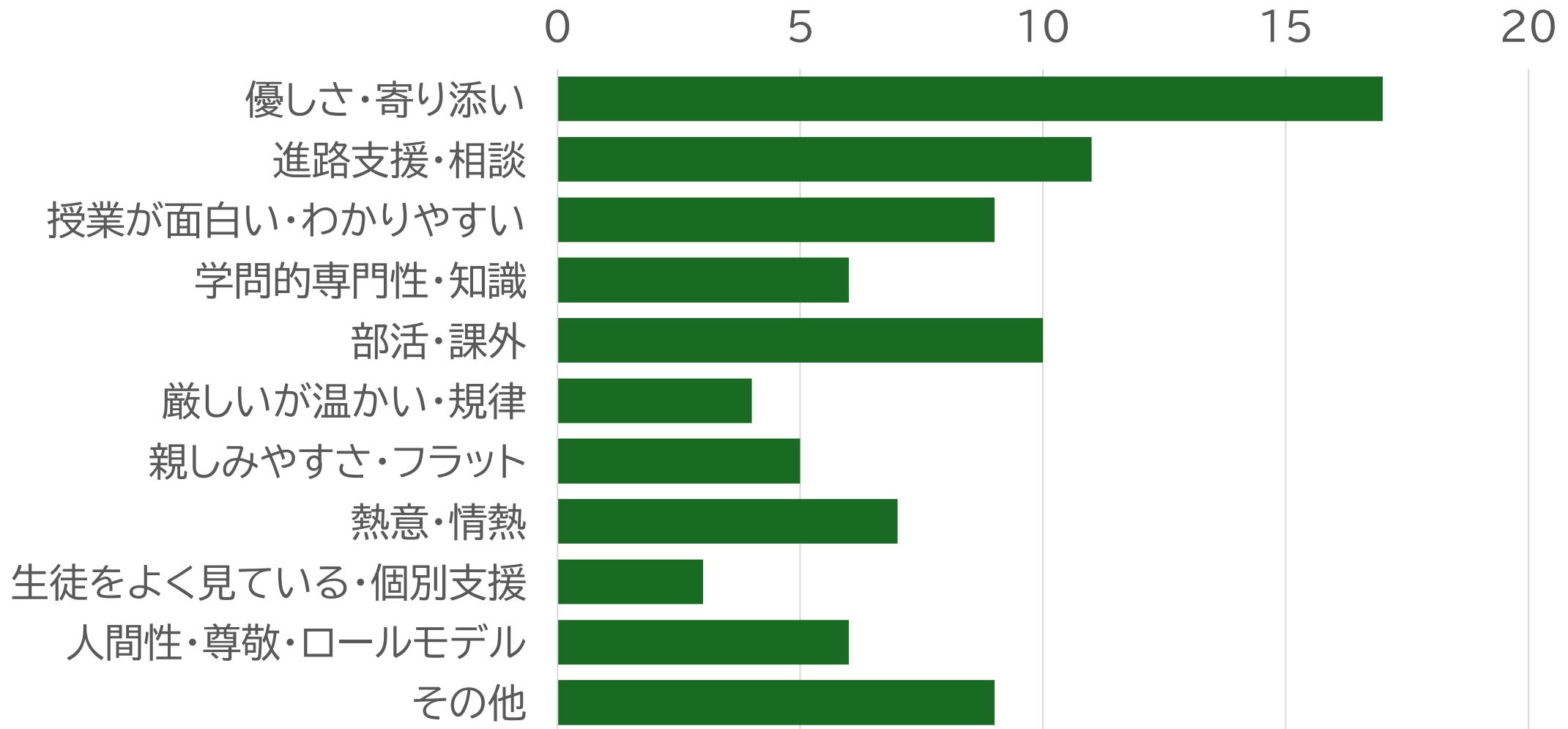
# 前回の結果⑤ 大きな転機



# 前回の結果⑥ どんな先生になりたい？



# 前回の結果⑦ 一番思い出深い先生



# この講義の感想や学んだこと

学校の先生はブラックだとどの講義でも言われてきたが、この講義は先生という職業をととてもプラスに捉えていて、前向きな気持ちになれた。

# この講義の感想や学んだこと

ICTについてあまり知識がなく、括りもあまり理解していないため正直なところ少し今回の授業が不安であった。

しかし、稲垣先生の紹介を聞いてるうちに不安は解消され、尊敬に値する考えを持つてるからこそちゃんと教えてくれると思い、この授業への関心が高まった。

# この講義の感想や学んだこと

情報の授業は、一人一人がパソコンと向き合って作業を行うイメージがあったが、授業の様子を見ると、パソコンを使わない授業や、周りの人と関わりながら授業を進める様子があり。面白いなと感じた。

パソコンと向き合うだけではなく、人と向き合った授業の仕方が情報でもできることに驚いた。

# この講義の感想や学んだこと

今講は稲垣先生の自己紹介、教員になった経緯の紹介が主だった。第一印象としては、お話が面白いなというふう  
に感じた。

次講からはより発表やディスカッションがあると思う。私はどちらかというと得意な方ではないので、不安もある  
が、しっかりと頑張っていきたい。

# この講義の感想や学んだこと

教職課程自体前向きな気持ちでとっておらず、少し義務的な気持ちで履修した授業だったが、教員になることを少し前向きに考えることができた。

また、先生の境遇と少しだけ似ている部分もあったため、これから頑張ればこんなにも前向きに発信できるようになるのかもしれないと思えた。

# 今日の問い

- 社会変化は、自分の身の回りでどう起きているか
- その変化の中で、学校は何を育てるべきか
- 教師として、ICTをどう使い、どう警戒するか

# 講義のカリキュラム

1. 私たちはテクノロジーに支えられている
2. 私たちの少し未来
3. デジタル読解力
4. 情報社会の影を知る、伝える

# 1. 私たちはテクノロジーに支えられている

見えないところも含めて、  
私たちの生活、学習、連絡、移動、買い物は  
テクノロジーに強く支えられています。

# 実習1 DXされた事例

## 質問4・5

自分が中学生のとき、高校生のときと比べて、DXされた事例を1つ挙げてください。

世の中全体ではなく、自分がこれまで関わった範囲のみで考えましょう。

# 少し整理:DX・Society5.0・生成AI

## DX

デジタル技術によって、  
仕事や生活や学びのあり方そのものが変わること

## Society5.0

AI・IoT・データを前提にした社会像

## 生成AI

文章・画像・音声などを生成できるAI

# 実習2 変化した職業の事例

## 質問6

自分が中学生のとき、高校生のときと比べて、  
変化した職業の事例を挙げてください。

これも、自分の直接見た、体験したところから考えてみて  
ください。

# 実習3 学校が最も重視して育てるべき力は？

## 質問7

ICTや生成AIによって社会や職業が変化していく中で、

学校が特に意図して育てる必要がある力は何だと思いますか。

どれも大切だとしても、今のあなたが最も優先したいものを1つ選んでください。

A 新しい技術を実際に使い、基本的な操作や活用方法を身につける力

B 情報や技術の仕組み・限界・リスクを見極め、使うかどうか判断する力

C 人と関わり、意見を調整し、状況に応じて責任ある判断をする力

# もう一度、同じ問いに答えてください

## 質問8・9

先ほどと同じ問いに、もう一度答えてください。

変わっても、変わらなくても構いません。

理由も短く書いてください。

# 2. デジタル読解力

「デジタル読解力」という言葉、  
今は調べないで、まず考えてみましょう。

# 実習4「デジタル読解力」とは何か

## 質問10

「デジタル読解力」とは、どのような力だと思いますか。  
100字以内程度で、自分の言葉で書いてください。

# 整理：読解力とデジタル読解力

## 読解力

- 1 情報を探し出す
- 2 理解する
- 3 評価し、熟考する

## デジタル読解力

- ・必要な情報を見つける
- ・情報の信頼性を見極める
- ・発信者の立場や目的を読む
- ・複数の情報を比べる
- ・使い方を判断する

# もう一度、自分の言葉で定義する

## 質問11

今の説明を踏まえて、

「デジタル読解力」をもう一度、自分の言葉で書いてください。

# 3. 情報社会の影

便利さが増えることと、  
失いやすくなるものは、  
同時に起こるかもしれません。

# 実習5 スマホやICTで失われやすい力は？

## 質問12・13

スマホやICTが広がる中で、  
学校が特に意識して育てる必要がある力は何だと思いますか。

- A まとまった文章を読み続ける力
- B 自分で覚え、必要なときに思い出す力
- C 待つ・考える間をもつ力
- D 相手の表情や場の空気を読みながら伝える力
- E 情報の出所や根拠を確かめる力
- F ICTが広がっても、特に育て直す必要があるとは思わない
- G その他

# 実習6 自分の教師像とICT(宿題)

## 質問14・15

第1回で自分が書いた  
「どんな先生になりたいか」を思い出してください。

1. その教師像に近づくために使えるICT活用を1つ書いてください。
2. 逆に、その教師像から遠ざかってしまう可能性のあるICT活用を1つ書いてください。

# まとめ

- 社会変化は、すでに自分の経験の中で起きている
- ICTは、便利さとリスクを同時に持つ
- 教師は、「使うか／使わないか」ではなく、「何のために、どう使うか」を判断する

# 第2回 最後を書いて欲しいこと(宿題)

質問16・17・18

最後にフォームに回答してください。

- 今日一番考えが揺れたこと
- 今日の授業を受けて、  
今後の教育で特に大切だと思ったこと
- 次回、特に知りたいこと